平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名　株式会社 ゲオホールディングス　　上場取引所　東 名
コード番号　2681　URL　http://www.geonet.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 遠藤　結蔵
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長　(氏名) 久保田　貴之　TEL 0568-33-4388

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日　配当支払開始予定日　平成23年12月12日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	119,072	4.3	8,391	109.9	8,370	90.0	4,164	184.6
23年3月期第2四半期	114,184	△0.5	3,998	△32.1	4,405	△25.3	1,463	△42.1

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　4,312百万円　(194.4%)　23年3月期第2四半期　1,465百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	7,658.31	7,642.31
23年3月期第2四半期	2,734.87	2,727.76

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	127,029	51,612	38.2
23年3月期	125,442	48,037	35.9

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　48,510百万円　23年3月期　45,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	1,400.00	—	1,400.00	2,800.00
24年3月期	—	1,500.00			
24年3月期(予想)			—	1,500.00	3,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	260,000	2.7	17,000	20.6	16,800	16.3	8,600	14.5	15,813.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	585,192 株	23年3月期	585,192 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	41,364 株	23年3月期	41,364 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	543,828 株	23年3月期2Q	535,039 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により電力供給不安や物流の寸断に加え、欧州の財政不安による過度な円高の進行などの影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、当第２四半期連結累計期間においても積極的な出店を引き続き実施し、グループ店舗施設数は49店舗増加し1,404店となりました。

同時に、管理体制の強化に向けた各管理体制の見直し、ガバナンスの強化に取り組み、“店舗網の拡大”および“管理体制の強化”に努め、更なる収益力の増強と経営基盤の強化に取り組んでおります

＜売上高＞

当第２四半期連結累計期間においても積極的な出店を重ねてきたことにより、売上高は前第２四半期連結累計期間に比べ4,887百万円増加し、119,072百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

＜営業利益及び経常利益＞

売上高の増加に加え、レンタル部門が引き続き好調に推移したこと、また全社的にコストの見直しを行ったことで、営業利益は前第２四半期連結累計期間に比べ4,392百万円増加し、8,391百万円（前年同期比109.9%増）、経常利益は前第２四半期連結累計期間に比べ3,964百万円増加し、8,370百万円（前年同期比90.0%増）となりました。

＜四半期純利益＞

営業利益の増加が主要因となったことに加え、前期に資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う特別損失が発生したこともあり、当四半期純利益は前第２四半期累計期間に比べ2,701百万円増加し、4,164百万円（前年同期比184.6%増）となりました。

以下は、当第２四半期連結会計期間末における当社グループの店舗・施設数の状況であります。
（ ）内は、前連結会計年度末との増減数であります。

	直営店		代理店		ＦＣ店		合計	
ゲオグループ店舗施設数	1,170	(+51)	106	(△1)	136	(△1)	1,404	(+49)
小売サービス店舗	1,116	(+51)	106	(△1)	136	(△1)	1,350	(+49)
メディア取扱店舗	941	(+44)	106	(△1)	95	(△2)	1,142	(+41)
古着取扱店舗	466	(+13)			46	(+4)	512	(+17)
総合リサイクル店舗	116	(△1)			36	(0)	152	(△1)
携帯電話販売店等	37	(+1)					37	(+1)
アミューズメント施設	54	(0)					54	(0)
ゲオディノス	21	(+1)					21	(+1)
ウェアハウス	11	(△1)					11	(△1)
フィットネス施設	14	(0)					14	(0)
複合カフェ・飲食店	8	(0)					8	(0)

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期末における総資産は127,029百万円となり、前連結会計年度末比1,586百万円の増加となりました。

なお、純資産は51,612百万円となり、自己資本比率は38.2％となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ2,645百万円増加し、26,992百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、増加した資金は11,570百万円（前年同四半期は4,767百万円の増加）となりました。

これは、レンタル用資産取得による支出が8,362百万円ありましたが、税金等調整前当四半期純利益が8,054百万円とレンタル用資産減価償却費が7,399百万円、減価償却費が2,568百万円ありましたことが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、減少した資金は2,674百万円(前年同四半期は4,464百万円の減少)となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出が2,134百万円ありましたことが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、減少した資金は6,250百万円(前年同四半期は3,600百万円の増加)となりました。

これは、短期借入れによる収入が3,600百万円と長期借入れによる収入が1,150百万円ありましたが、短期借入金の返済による支出が2,113百万円と長期借入金の返済による支出が6,397百万円、ファイナンスリース債務の返済による支出が1,301百万円ありましたことが主な要因であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

小売サービス事業におきましては、レンタル部門が上半期に引き続き堅調に推移する見通しとしておりますが、昨今の消費動向から勘案し、ゲーム関連商品を中心とした中古販売及び新品販売は当面厳しい状況が続くものと考えております。

また、当初の出店計画に対しての上半期の出店実績が少なかったことに加え、その出店コストが下半期に見込まれる状況から、通期業績予想につきましては、平成23年10月27日に公表しましたとおり、売上高260,000百万円（前年同期比2.7％増）、営業利益17,000百万円（前年同期比20.6％増）、経常利益16,800百万円（前年同期比16.3%増）、当期純利益8,600百万円（前年同期比14.5％増）を見込んでおります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,299	25,873
受取手形及び売掛金	6,845	5,604
商品	14,207	14,948
その他	11,458	10,976
貸倒引当金	△413	△381
流動資産合計	55,397	57,021
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,346	16,406
その他（純額）	25,349	25,888
有形固定資産合計	41,696	42,295
無形固定資産		
のれん	4,383	3,953
その他	1,319	1,350
無形固定資産合計	5,702	5,304
投資その他の資産		
敷金及び保証金	14,928	14,983
その他	9,348	8,893
貸倒引当金	△1,629	△1,468
投資その他の資産合計	22,646	22,407
固定資産合計	70,045	70,007
資産合計	125,442	127,029
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,953	11,321
短期借入金	500	2,000
1年内返済予定の長期借入金	12,094	11,165
未払法人税等	808	4,132
引当金	1,128	1,072
その他	10,974	10,356

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
流動負債合計	36,458	40,048
固定負債		
社債	2,993	2,608
長期借入金	27,103	22,791
引当金	517	495
資産除去債務	2,919	2,989
その他	7,413	6,483
固定負債合計	40,945	35,368
負債合計	77,404	75,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,603	8,603
資本剰余金	9,457	9,457
利益剰余金	30,281	33,685
自己株式	△3,378	△3,378
株主資本合計	44,964	48,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	142
その他の包括利益累計額合計	95	142
新株予約権	214	238
少数株主持分	2,763	2,864
純資産合計	48,037	51,612
負債純資産合計	125,442	127,029

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	114,184	119,072
売上原価	65,874	65,517
売上総利益	48,309	53,554
販売費及び一般管理費	44,310	45,163
営業利益	3,998	8,391
営業外収益		
受取保険金	307	165
受取手数料	255	－
不動産賃貸料	－	409
その他	620	321
営業外収益合計	1,183	896
営業外費用		
支払利息	430	337
不動産賃貸費用	－	249
その他	345	330
営業外費用合計	776	917
経常利益	4,405	8,370
特別利益		
負ののれん発生益	1,498	－
その他	219	－
特別利益合計	1,718	－
特別損失		
減損損失	314	316
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,312	－
その他	123	－
特別損失合計	1,750	316
税金等調整前四半期純利益	4,373	8,054
法人税、住民税及び事業税	1,662	3,998
法人税等調整額	1,271	△205
法人税等合計	2,934	3,793
少数株主損益調整前四半期純利益	1,439	4,260
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△23	95
四半期純利益	1,463	4,164

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,439	4,260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	51
その他の包括利益合計	25	51
四半期包括利益	1,465	4,312
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,489	4,211
少数株主に係る四半期包括利益	△24	100

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,373	8,054
減価償却費	2,316	2,568
レンタル用資産減価償却費	6,263	7,399
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,312	－
負ののれん発生益	△1,498	－
受取利息及び受取配当金	△97	△94
支払利息	430	337
売上債権の増減額（△は増加）	419	1,369
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,253	△338
レンタル用資産取得による支出	△6,058	△8,362
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,670	336
その他	△1,089	1,185
小計	5,954	12,456
利息及び配当金の受取額	93	90
利息の支払額	△444	△341
法人税等の支払額	△835	△634
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,767	11,570
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,737	△2,134
子会社株式の取得による支出	△2,366	－
その他	639	△539
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,464	△2,674
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	12,737	3,600
短期借入金の返済による支出	△11,536	△2,113
長期借入れによる収入	13,810	1,150
長期借入金の返済による支出	△8,704	△6,397
社債の発行による収入	795	258
社債の償還による支出	△1,395	△687
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,366	△1,301
配当金の支払額	△748	△759
その他	9	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,600	△6,250
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,904	2,645
現金及び現金同等物の期首残高	19,650	24,347
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,555	26,992

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	小売サービス	不動産	アミューズメント	計				
売上高								
外部顧客への売上高	105,983	1,554	5,283	112,822	1,362	114,184	－	114,184
セグメント間の内部売上高又は振替高	18	－	0	18	30	49	△49	－
計	106,001	1,554	5,283	112,840	1,393	114,233	△49	114,184
セグメント利益又はセグメント損失（△）	4,794	79	34	4,908	△21	4,886	△888	3,998

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業及びその他のサービス事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△888百万円には、セグメント間取引消去△49百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△839百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

重要性が乏しいため記載を省略しております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

「アミューズメント」セグメントにおいて、平成22年７月に株式会社ウェアハウスの株式を取得したことにより、当第２四半期連結会計期間において負ののれん発生益1,498百万円を計上しております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	小売サービス	アミューズメント	計				
売上高							
外部顧客への売上高	111,675	6,276	117,951	1,120	119,072	－	119,072
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	0	12	20	33	△33	－
計	111,687	6,276	117,963	1,141	119,105	△33	119,072
セグメント利益又はセグメント損失（△）	8,961	500	9,461	△23	9,438	△1,046	8,391

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業及びその他のサービス事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,046百万円には、セグメント間取引消去△33百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,013百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．事業区分につきましては、従来「小売サービス」、「不動産」、「アミューズメント」の３つに区分しておりましたが、不動産事業を行っていた連結子会社の株式会社ゲオエステートを前期末に第三者に譲渡した為、第１四半期連結累計期間より、「小売サービス」、「アミューズメント」の２つの区分にしております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

重要性が乏しいため記載を省略しております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。